

## 2020 精神科 IRAT

【作成者から注】精神科の講義では、ほぼ毎日小テスト（IRAT）があり、最終成績に IRAT の成績も含まれていました。流れとしては、前日にレジュメが配られ、IRAT 当日午前中に選択肢問題を解き、その後テスト問題に関して先生から解説があります。レジュメに関しての講義は全くありません。なお、IRAT で学んだ分野も最終の本試験の範囲に含まれます。

### ・「認知症・せん妄」（2020.12.14）

- ① 73歳の男性。肺炎でICUに入院した。身体的な経過は良好であったが、入院5日目から、夜になると点滴を外して暴れようとする。看護師がベッドに戻そうとすると、「ここはどこか」、「なぜ妻はいないのか」と興奮することもあった。日中は入院治療を受けていることをよく理解しており、夜間のことを覚えていない。  
精神症状への対応として適切なのはどれか、1つ選べ。
- a. 一般病棟に移す。
  - b. 家族の面会を制限する。
  - c. 夜間、部屋を明るくする。
  - d. 夜間、予防的に身体を拘束する。
  - e. 昼寝をしてもらい睡眠時間を保つ。
- ② 認知症および軽度認知障害は共にせん妄の危険を増大させ、その経緯を複雑にすることがある。せん妄と認知症を区別する際に、その特徴は急性発症、注意の障害と、あと1つはどれか、1つ選べ。
- a. 変動性の経過
  - b. 安定した経過
  - c. 躁の存在
  - d. うつの存在
  - e. 歯車様の運動
- ③ 65歳の女性。物忘れがひどいことを主訴に、家族に伴われて来院した。自分が置いた財布の場所を忘れて「どろぼうが家に入り、財布を盗んだ」と言ったり、夕方になると「ここは自分の家ではない。もう家に帰らなければ」と言って家を出ていこうとする。家族によれば、最近はやがままで短気になったという。  
この患者で障害されていないものはどれか、1つ選べ。
- a. 性格
  - b. 記憶

- c. 思考
- d. 知覚
- e. 見当識

④ 60歳の男性。従来は周囲に対する配慮ができていたが、最近は著しく自己中心的な言動が目立つようになったことを心配した家族に伴われて来院した。1年前から気力がなくなり、ぼーっとたたずんでいることが多くなった。自室内には、数か月前から収集し続けているペットボトルが山積みになっているという。

最も考えられる疾患はどれか。

- a. Alzheimer病を伴う認知症
- b. Lewy小体病を伴う認知症
- c. 前頭側頭型認知症
- d. 強迫症
- e. 統合失調症

⑤ レビー小体病を伴う認知症の中核的特徴として正しいものはどれか、1つ選べ。

- a. 認知の動揺性と、注意および覚醒度の著しい変異を伴う。
- b. 繰り返し出現する幻聴
- c. 認知機能低下の進展より少なくとも1年前に起こるパーキンソンニズム
- d. レム睡眠行動障害の基準を満たす。
- e. SPECT（単一光子放射コンピュータ断層撮影）またはPET（陽電子断層撮影法）で示される基底核における線条体ドパミントランスporter取り込み低下

⑥ ある検査の質問内容を以下に示す。この心理・精神機能検査はどれか、1つ選べ。

- 1) お歳はいくつですか。
- 2) 今日は何年の何月何日ですか。
- 3) 私たちがいまいるところはどこですか。
- 4) これから言う3つの言葉を言ってみてください。あとでまた聞きますのでよく覚えておいてください。
- 5) 10から7を順番に引いてください。
- 6) 私がこれから言う数字を逆から言ってください。
- 7) 先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってみてください。
- 8) これから5つの品物を見せます。それを隠しますのでなにがあったか言ってください。
- 9) 知っている野菜の名前をできるだけ多く言ってください。

- a. 田中・Binet（ビネー）式知能検査

- b. リバーミード行動記憶検査
- c. Wechsler 成人知能検査<WAIS-III>
- d. 改訂長谷川式簡易知能評価スケール
- e. 簡易精神症状評価尺度[Brief Psychiatric Scale<BPRS>]

⑦ 記銘力低下を認める患者の家族の訴えで、Pick 病を最も疑わせるのはどれか、1つ選べ。

- a. 「夜中に起きて騒ぎ立ってます」
- b. 「鏡の中の自分に話しかけます」
- c. 「物がないと家族が盗ったと言います」
- d. 「同じような食事しか作らなくなりました」
- e. 「会話の内容に関係ない言葉を繰り返します」

⑧ 69 歳の放射線科医、男性。過去数か月にわたり、エックス線読影において多くの明らかな間違いを指摘された。以前にアルコール依存の病歴はあるが、過去 20 年にわたって禁酒している。また、妻を亡くした後に抑うつエピソードの病歴が 9 年前にあるが、6 か月後に完全に消失して再発はしていない。彼は正しい日付を述べることができないが、自分の経歴についてはとても詳しく述べるができる。自宅ではコンロの火を消し忘れて近隣に迷惑をかけたことがある。MMSE で 21/30 点であった。最も適切な診断はどれか、1つ選べ。

- a. 認知症
- b. 軽度認知障害
- c. 適応障害
- d. うつ病
- e. 診断なし

⑨ 76 歳の女性。物忘れが多くなり、何度も同じことを尋ねるようになったことを心配した家族に付き添われて来院した。約 1 年前から軽度の意欲低下がみられていたが、ここ 3 か月間は食事を作るものと同じ献立を何日も連続して作るようになってきたという。身体所見に異常を認めない。Hamilton うつ病評価尺度 4 点 (0 点~7 点:正常)、Mini-Mental State Examination<MMSE>16 点 (30 点満点)。頭部 MRI で海馬の軽度萎縮が認められた。

この患者の機能評価に有用な検査はどれか、2つ選べ。

- a. 津守・稲毛式発達検査
- b. 状態特性不安検査<STAI>
- c. 前頭葉機能検査<FAB>

- d. Rorschach テスト
- e. Wechsler 記憶検査<WMS-R>

⑩ 65 歳の男性。言動に不安を感じた妻に伴われて来院した。高血圧症で内服加療中である。朝の散歩を日課としているが、半年前から必ず時刻通りに出かけることにこだわるようになった。また、帰省した息子や孫を突然怒鳴りつけるなど、怒りっぽくなった。食事は同じ内容にこだわるようになり、異なるメニューを提供すると怒り出して食事の最中に席を離れてしまうことがあった。趣味のサークルの友人から妻に電話があり、最近、サークルの運営で自分の主張を押し通そうとして困っていると相談された。物忘れはなく、会話の不自由さはない。日常生活動作に支障はみられない。妻は言動変化の原因になるような心当たりはないという。診察室でも本人は受診が不満のようで、妻をなじっている。

この患者で予想される所見はどれか、1つ選べ。

- a. 幻視
- b. 復唱障害
- c. 遂行機能障害
- d. 視空間認知能障害
- e. エピソード記憶障害

⑪ Alzheimer 型認知症とせん妄とを鑑別できる症候はどれか、1つ選べ。

- a. 不穏
- b. 徘徊
- c. 意識障害
- d. 易刺激性
- e. 記銘力低下

⑫ 72 歳の女性。2 年前に Alzheimer 病を発症し通院中である。最近症状が進行してきたので、夫が今後の対応を相談するため来院した。自宅で夫と二人で暮らしており、患者の介護や家事一切は夫がしている。最近、物忘れがますますひどくなってきている。特に夜間に徘徊や幻覚による興奮がみられるようになり、目が離せなくなった。夫は疲労しているが、今後とも妻と同居することを願っている。

この夫に対するアドバイスで適切なのはどれか、1つ選べ。

- a. ショートステイを利用する
- b. 就寝時に妻に睡眠薬を内服させる。
- c. 妻の衣服の表に名前と連絡先を書く。
- d. 夜は電気をすべて消して部屋を暗くする。

e. 寝室を別にして妻の部屋を施錠する。

- ⑬ 75歳の女性。抑うつ気分を訴えるのを心配した隣人に付き添われて来院した。約3年前から徐々に物忘れが進行し、2年前にAlzheimer型認知症と診断され、ドネペジルを服用している。5か月前に長男が交通事故で死亡し、その直後から著明な抑うつ傾向を認め、「生きていても仕方がない」と頻繁に口にするようになった。夫は10年前に死亡し、現在は一人暮らしである。診察時、「死んだ長男のことばかり考えているだけなので、治療は受けなくていい。家族にも連絡しないで欲しい」と述べる。身体診察では異常所見を認めない。改訂長谷川式簡易知能評価スケールは19点（30点満点）。

対応として適切なのはどれか、1つ選べ。

- a. ドネペジルの増量する。
- b. できるだけ安静にするよう指示する。
- c. 家族への連絡の承諾を得られるよう説得する。
- d. 病状を地域の精神保健福祉センターに連絡する。
- e. 付き添ってきた隣人の同意を得て医療保護入院とする。

#### ・「統合失調症」（2020.12.15）

- ① 30歳の独身女性が、幻聴及び被害妄想を2か月間経験した後に、悲しい気分、自殺念慮を伴う抑うつエピソードが3か月間持続した。抑うつエピソードは薬物療法と精神療法で消失したが、精神病性症状は消失するまでにさらに1か月間持続した。

最も適切な診断はどれか、1つ選べ。

- a. 統合失調感情障害
- b. 短期精神病性障害
- c. うつ病
- d. 精神病性の特徴を伴ううつ病
- e. 双極性I型障害、現在のエピソードが躁病、混合性の特徴を伴う

- ② 次の患者の症状のうち、統合失調症と診断するために精神病性として分類されないものはどれか、1つ選べ。

- a. 自分が特別な人であると告げる声を聞いている。
- b. 自分だけが秘密警察組織によって尾行されていると信じている。
- c. 再び起こっているように感じる戦争体験のフラッシュバックをかかえている。
- d. 「自分の頭の中が皆に知られている」と訴える。
- e. 患者は診察室に入ると、動かなくなり、診察医が右腕を上げるとそのままの姿勢をとる。

- ③ 次のうち統合失調症の陰性症状を示していないものはどれか、1つ選べ。
- 感情の平板化
  - 動機づけの低下
  - 思考貧困
  - 機能喪失の悲しみ
  - 社交的な興味の喪失
- ④ 統合失調症に関する暴力または自殺行為に関して誤っているものはどれか、1つ選べ。
- 統合失調症患者の約5~6%が自殺により死亡する。
  - 統合失調症の患者が殺人を犯す可能性は一般人口よりも高い。
  - 一般人口よりも高い頻度で暴力の犠牲者となる。
  - 自分を傷つけよという命令性の幻聴が自殺行為に先行することがある。
  - 統合失調症の自殺の危険性を増加させる要因は、若年、男性、物質乱用である。
- ⑤ 次のうち統合失調症に特徴的な症状はどれか、2つ選べ。
- 人前でスピーチするのが怖い。
  - 自分を批判する複数の人の声が聞こえる。
  - 考えが次から次へと浮かんで、話題が飛び、会話のまとまりがなくなる。
  - 外界と自分との間にベールがあり、周囲のものに実感が湧かない。
  - 家の前に立っている男性を見て、その人に狙われていると確信する。
- ⑥ 自我障害の訴えはどれか、1つ選べ。
- 「脳が溶けています」
  - 「自分の考えが抜き取られます」
  - 「皆が自分の悪口を言っています」
  - 「食事に変なものを入れられています」
  - 「何か恐ろしいことが起こりそうです」
- ⑦ 34歳の男性。統合失調症で入院中である。3年前に統合失調症と診断され、父親の同意によって医療保護入院となった。精神症状は難治であるが、本人には統合失調症についての病識がなく精神科治療を受ける考えもないため、医療保護入院が続いている。2週間前に肺癌で手術が必要と診断された。本人に伝えると「手術しないといけないのはわかるが手術は怖い。このまま癌で死んでもかまわない」と手術を拒否した。一方、父親は手術を希望した。
- 現時点での対応として適切なのはどれか、1つ選べ。
- 抗精神病薬を増量する。

- b. 本人の意向を無視して手術を行う。
- c. 手術をあきらめるように父親を説得する。
- d. 患者の同意を得るための努力をさらに続ける。
- e. 地域の精神保健福祉センターに判断を求める。

⑧ 患者の発言で最も統合失調症が疑われるのはどれか、1つ選べ。

- a. 「いつも自殺したいと考えています」
- b. 「自分の考えていることが周りの人に伝わってしまいます」
- c. 「映画を見ているような感じで、周囲の景色に実感がありません」
- d. 「汚くないとわかっていても何度も手を洗わないと気がすみません」
- e. 「検査で体に異常はないと言われたけれど、間違いなく癌だと思います」

⑨ 20歳の男性。異常な言動を心配した両親に伴われて受診した。2年前に大学へ入学してからアパートで1人暮らしをしていた。1か月前に体調が優れないと言って実家に帰り、その後はほとんど自室に閉じこもって過ごしていた。1週間前から「テレビで自分のことが毎日流れている」、「テレビの出演者が自分にだけわかるサインを送ってくる」、「周りの人が自分の悪口を言っている」と訴え、夜間に隣の家に向かって大声を出すなどの行動がみられるようになったという。このため両親に伴われ精神科を受診した。診察中は表情が乏しく、視線を合わせようとしない。問診に対しては小声で短く答える。大学入学以前は、発達上の問題や適応上の問題はなかった。血液検査、頭部MRI及び脳波検査に異常は認めない。

治療薬として適切なのはどれか、1つ選べ。

- a. 炭酸リチウム
- b. リスペリドン
- c. イミプラミン
- d. フェニトイン
- e. カルバマゼピン

⑩ 25歳の男性。幻聴を主訴に兄に連れられて来院した。昨日から「そばに人がいないのに、考えていることを批判し動作を命令する声が聞こえてくる。つらくて仕方がない」と苦痛を伴った幻聴を訴えるようになったため、精神科病院を受診した。この病院で3年前に統合失調症と診断され、通院中であった。患者はこの声が聞こえなくなるよう入院の上で治療して欲しいと訴えている。

適切な入院形式はどれか。

- a. 応急入院
- b. 自由入院

- c. 任意入院
- d. 医療保護入院
- e. 緊急処置入院

- ⑪ 72歳の女性。言動の変化を心配した家族に伴われて来院した。3年前に夫を亡くしてから、一人暮らしを続けている。これまでに精神症状を呈したことはなかった。3か月前から自宅に閉じこもりがちになったため、心配した長女が様子を見に行ったところ「外に出ると皆が自分の悪口を言っている」、「隣の人がいつも自分を監視している」といった話をし続けたという。診察時には表情が明るく、抑うつ気分は認めない。疎通性も良好である。幻覚は認めず、改訂長谷川式簡易知的機能評価スケールは30点（満点30）であった。

最も考えられるのはどれか。

- a. うつ病
- b. 妄想性障害
- c. 統合失調症
- d. 強迫症（強迫性障害）
- e. 社会不安症（社会不安障害）

- ⑫ 30歳の男性。18歳時に統合失調症を発症し、過去に2回の入院歴がある。ここ数年は症状が安定し就労していたが29歳時に妄想が再燃し、3回目の入院となった。入院から6か月が経過し状態は安定し、日常生活も自立していることから、主治医は自宅への退院を考えている。患者は対人関係をうまくとることができないため、主治医は一般社会ですぐに働くのは困難と判断している。

退院後、患者が利用するのに適切なのはどれか。2つ選べ。

- a. 援護寮
- b. デイケア
- c. 福祉工場
- d. グループホーム
- e. 訪問リハビリテーション

- ⑬ 統合失調症の心理・精神機能評価として適切な検査はどれか、2つ選べ。

- a. 状態特性不安検査（STAI）
- b. Rorschach テスト
- c. リバーミード行動記憶検査（RBMT）
- d. Mini-Mental State Examination（MMSE）
- e. ウィスコンシンカードソーティングテスト（WCST）

・「気分障害」(2020.12.16)

- ① 32歳の男性が1週間、異常に易怒性を感じているという。この間、活動や活力が亢進し、「眠らなくても大丈夫!」と、一日中じっと座ることなく、いろんなことをしている。明らかに普段より多弁で、怒りっぽく、容易に注意が転じてしまうため、割り当てられた仕事を完了することができず、上司と激しい口論となり、自宅待機を命じられたほどである。身体的な検査では異常なく、薬物の使用もしていない。  
最も適切な診断はどれか、1つ選べ。
- a. 双極Ⅰ型障害、躁病エピソード
  - b. 双極Ⅱ型障害、軽躁病エピソード
  - c. 双極Ⅰ型障害、混合性の特徴を伴う
  - d. 双極Ⅱ型障害、混合性の特徴を伴う
  - e. 気分循環性障害
- ② 双極性障害の既往を持つ患者が、この1週間気分が高揚して開放的であると訴えている。この患者が躁病エピソードでなく軽躁エピソードを体験していることを示唆していると考えられる証拠は次のうちどれか、1つ選べ。
- a. 易怒性
  - b. 睡眠欲求の減少
  - c. 仕事の生産性の増加
  - d. 精神病症状
  - e. 疾病に関する十分な病識
- ③ 双極性障害に関して、より悪い予後(再発しやすい、治り難い)をもたらす可能性のある特徴はどれか、1つ選べ。
- a. 女性である。
  - b. 教育水準が高い。
  - c. 急速交代型である。
  - d. 既婚である。
  - e. 抑うつエピソードが短い。
- ④ 気分循環性障害が双極Ⅰ型障害と異なっている側面はどれか、1つ選べ。
- a. 罹患期間
  - b. 重症度
  - c. 発症年齢
  - d. 薬物療法
  - e. 以上のすべて

- ⑤ 50歳の男性が数週間にわたり持続的な抑うつ気分を呈し、不眠と疲労感、罪の意識を感じており、「死んでしまえたらよいのに」と思っている。一方で、彼は毎日何度も性行為を求め、インターネットでよいアイデアがあると妻に言って高額なソフトを購入し、毎晩1～2時間しか眠らず、妻からみると相当なエネルギーがあるという。最も適切な診断はどれか、1つ選べ。

- a. 躁病エピソード
- b. 軽躁病エピソード
- c. 気分循環性障害
- d. うつ病、混合性の特徴を伴う
- e. 双極Ⅱ型障害

- ⑥ 48歳の男性。不眠を主訴に来院した。長年にわたる支店での活躍が評価され、半年前に本店に栄転した。当初は喜んだものの、環境の変化になじめず、期待に応える仕事ができないと自分を責め、終日気分が晴れず夜は一睡もできなくなった。1か月前から仕事が手につかなくなり退職を申し出たところ上司に受診を勧められた。抑うつ気分、意欲低下および全般的な興味や関心の低下がみられ、身体診察で異常所見を認めないことからうつ病と診断した。なお、上記状態は以前に経験したことがなく、精神科通院歴もない。

治療として不適切なのはどれか、1つ選べ。

- a. 選択的セロトニン再取り込み阻害薬<SSRI>
- b. ノルアドレナリン作動性・特異的セロトニン作動性抗うつ薬<SNRI>
- c. 修正電気けいれん療法<mECT>
- d. 休息
- e. 睡眠導入薬

- ⑦ 44歳の男性。不眠を主訴に来院した。6か月前に自ら望んで転職し、当初は順調であったが、2か月前からは気分の落ち込みと作業能力の低下とを自覚していた。最近の1か月は転職したことを後悔して食事も摂れなくなり、不眠が次第に悪化してきたという。本日会社を早退し、自宅で遺書を用意していたところを妻に発見され受診した。現時点の対応として適切なのはどれか、**2つ選べ**。

- a. できるだけ早く休息をとらせる。
- b. 現在の職場を辞めるように勧める。
- c. 自殺を計画したことをとがめる。
- d. 自殺について触れないようにする。
- e. 治療が必要な病気であることを説明する。

- ⑧ 21歳女性。高校1年の頃、特に誘因なく元気がなくなり、3か月休学したことがある。その際は特に治療を受けずに回復した。1か月前から、些細なことで彼氏や友人とけんかすることが増えた。連日ショッピングに出かけ、友人に意味なくプレゼントすることも増えた。自身に満ち溢れた様子で、化粧や洋服も派手になり、彼氏に隠れて浮気をした。ここ1週間はほとんど眠らず、勉強にバイトにエネルギーギッシュに取り組むが、一つのこと集中できていない様子で、気分は爽快で、話し始めると止まらず、周囲からも「テンションが高すぎる」と言われるようになった。ローンを組んで高額なブランド品を買うなど浪費が激しく、「世の中の人役に立てば」と貯金を全額寄付するなどした。普段は上機嫌だが、ちょっとしたことでイライラし、悪態をつく。心配した両親に連れられてしぶしぶ来院した。「調子がよく、病気ではない」と立腹して話される。この患者の治療薬として今後用いられるのに適切なものはどれか、2つ選べ。
- パロキセチン
  - 炭酸リチウム
  - オランザピン
  - スルピリド
  - メチルフェニデート
- ⑨ うつ病に特徴的な訴えはどれか、1つ選べ。
- 「考えが浮かびません」
  - 「考えが頭から離れません」
  - 「考えが声となって聞こえます」
  - 「考えが誰かに抜き取られます」
  - 「考えが他人に伝わってしまいます」
- ⑩ うつ病の小精神療法に関する「笠原の7か条」について、間違った記載は次のうちどれか、1つ選べ。
- うつ病は病気であり、単に怠けではないことを認識してもらう。
  - できる限り休養をとることが必要である。
  - 抗うつ薬については少量を短期間使用する。
  - 治療にはおよそ3か月かかることを告げる。
  - 自殺しないように誓約してもらう。
- ⑪ 30歳の男性。このところ仕事に身が入らず遅刻が目立つようになったため、上司からの勧めで産業医面談を受けた。面談で精神科受診を勧められ来院した。入社以来、事務職に携わってきたが、3か月前に営業職に異動した。約1か月前から平日は食欲が低下し、なんとなく元気が出なくなった。休みの前日は熟睡できるが、それ以外の日はなか

なか寝つけず、一旦寝ついても職場の夢をみて夜中に目が覚めることが多くなった。欠勤はなく、休日は趣味のサーフィンを以前と変わらず楽しめているという。

初診時の対応として適切なのはどれか、1つ選べ。

- a. 休職を勧める。
- b. 頑張るよう励ます。
- c. 抗うつ薬を処方する。
- d. 投影法の心理検査を実施する。
- e. 仕事に関する本人の考えを聞く。

- ⑫ 43歳の男性。自営業。すぐに機嫌を損ねて怒鳴るようになったため、妻と母親に説得されて来院した。3か月前に父親が急逝してからしばらくの間、元気がなく、家族と話さなくなった。1か月前から店で必要以上にたくさん仕入れをするようになり、従業員に対して大声で怒鳴りつけるようになった。商品陳列の場所を何度も変え、始終移動させているようになった。元来ほとんど飲酒をしなかったが、毎晩飲酒をするようになったという。多弁で、感情の動きが激しく表出され、話題が際限なく広がる。本人は受診について不満であり、精神的なストレスで悲観的な考えに陥っている家族の方に治療を受けさせたいと述べている。これまでに発達上の問題はなかった。血液検査、頭部MRI及び脳波検査に異常を認めない。

この患者にみられる症状はどれか、2つ選べ。

- a. 感覚失語
- b. 観念奔逸
- c. 行為心迫
- d. 連合弛緩
- e. 小動物幻視

- ⑬ うつ病でみられるのはどれか、1つ選べ。

- a. 誇大妄想
- b. 罪業妄想
- c. 追跡妄想
- d. 被毒妄想
- e. 物盗られ妄想

・「不安症・強迫症・ストレス因関連障害」(2020.12.17)

- ① 次のうち、パニック発作について正しいものはどれか、1つ選べ。
- a. パニック発作の症状がピークになるのは、発作出現 30 分後のことが多い。
  - b. パニック発作は、突然起こり、通常はそれほど重くない。
  - c. パニック発作は、常に予期できない。
  - d. パニック発作は、さまざまな他の障害でも起こりうる症候群である。
  - e. パニック発作は、医学的疾患に続発することはない。
- ② 32 歳の女性が、2 か月ほど前、突然、動悸、息切れ、それに嘔気を伴う、激しい不安発作を自覚し、「死ぬのではないかと恐れ、救急外来を受診した。しかし、検査の結果医学的には問題なく、医師からそのような説明を受け、その時は安心するが、また同様の発作が何度も起きるため、心配で、一人で外出することができなくなってしまった。内科から抗不安薬を処方され、1 回だけ使用したが眠気が酷く、それ以来使用していない。
- 最も可能性の高い疾患はどれか、1つ選べ。
- a. パニック症
  - b. 身体症状症
  - c. 他の医学的疾患による不安
  - d. 病気不安症
  - e. 限局性恐怖症
- ③ 社会不安症において、患者の恐怖の対象として最も可能性が高いものはどれか、1つ選べ。
- a. 社会または職業的障害
  - b. 自分または他者を傷つけること
  - c. 恥ずかしい思いをすること
  - d. 愛着対象から分離すること
  - e. 耐えられない症状
- ④ 皮がむけ、荒れた手をしている 52 歳の男性が、精神科医に紹介された。1 日何十回も合計 4 時間ほどを費やして熱湯と研磨洗浄剤を使って手を洗っている。彼は自分が過度に手洗いをして手がきれいなことがわかっているが、洗った傍から「手が汚れている」という考えが頭に浮かんでくるため、再び洗面所に走るのである。「手を洗わないで我慢していると、不安でしょうがない」と言う。なお、医学的検査において異常は指摘されていない。
- 最も適切な診断はどれか、1つ選べ。

- a. 妄想性障害
- b. 病気不安症
- c. 強迫症
- d. 強迫性パーソナリティ障害
- e. 全般不安症

- ⑤ 53歳、会社員の男性。1か月前、検査により肺癌の診断が確定した。その後、転移の確認のためのPET検査をすることを先延ばしにし、「この全ては現実ではないかのように感じている」と言い、常に涙ぐみ、「自分は死んでしまう」と語った。また彼は、「喫煙していたがために癌になった」と強い自責感を抱いている。なお、仕事効率が少し下がったが、出社はできており、食欲、睡眠は良好で、希死念慮等はなく、「是非、助けて欲しい」と述べる。

最も適切な診断はどれか、1つ選べ。

- a. 急性ストレス障害
- b. 心的外傷後ストレス障害
- c. 適応障害
- d. うつ病
- e. 全般不安症

- ⑥ 急性ストレス障害の診断基準を満たすと考えられるストレスの多い状況はどれか、1つ選べ。

- a. 配偶者が解雇されたことを知ること。
- b. 自分の落ち度のない交通事故に遭遇したこと。
- c. 深刻な医学的診断を受けたこと。
- d. 地震の後に起きた津波で、自分以外の家族全員が亡くなったこと。
- e. 90歳の祖母を家族全員で看取ったこと。

- ⑦ 社交不安症について正しいものはどれか、2つ選べ。

- a. 注察妄想に発展する。
- b. 発汗とふるえを伴う。
- c. パニック発作を認めない。
- d. 社会から疎外されていると考える。
- e. 他の人々から注視される状況を避ける。

- ⑧ パニック発作中にみられるものはどれか、2つ選べ。

- a. 広場恐怖

- b. 徐脈
- c. 呼吸促迫
- d. 死の恐怖
- e. 予期不安

- ⑨ 28歳、専業主婦の女性。1週間前、自宅でいつものように一人で夕食を作っている時に、震度7の大地震が発生。古かったせいもあり、家は傾き、住めないほどのダメージを受け、本人も倒れてきた茶箆筒や冷蔵庫の下敷きとなり、近くに勤めていた夫が駆けつけるまでの2時間以上、真っ暗でガラスの飛び散った台所で恐怖に耐えていなければならなかった。助け出され、すぐに病院に運ばれ、診察や検査を受けたが、幸い大きな怪我はなく、その後より近くの体育館で夫と共に避難所生活が始まった。3日程経った頃から、度重なる余震によりあの恐怖が蘇り、過度に驚き、パニックとなってしまふようになった。また地震が起きた時にしていた料理も避けるようになり、自信もなくなり、寝ても地震の夢ですぐに起きてしまうようになったため精神科を受診した。治療によって1か月以内には症状は軽快した。

最も適切な診断はどれか、1つ選べ。

- a. 全般不安症
- b. 急性ストレス障害
- c. 適応障害
- d. 心的外傷後ストレス障害 (PTSD)
- e. パニック症

- ⑩ 「車を運転していて人をはねてしまったんじゃないかと思うんです。そんなことはないと分かっているんですが、どうしても気になります」という患者の訴えから考えられるのはどれか、1つ選べ。

- a. 強迫観念
- b. 作為体験
- c. 罪業妄想
- d. 滅裂思考
- e. 妄想着想

- ⑪ 15歳の女子。いらいらして暴力を振るうことを心配した母親に伴われて来院した。

**現病歴:** 中学2年になり、友人関係でトラブルが起こったところから食欲がなくなり、学校を休みがちになった。自分の部屋でいやな友人の顔が浮かぶと、そのときしていた行為を最初からやり直すようになった。不潔になったことを気にして頻回に手を洗ふようになった。その後も学校では普通の生活を送っていたが、家では自分だけでなく母親

に同じ言葉や行動を繰り返させ、母親が正確にやり直せないとパニックを起こしたり、暴力を振るったりするようになった。

**生育歴**：3歳時に両親が離婚し、母親と弟との3人暮らし。小学校では成績も優秀で友人も多く、何事にも積極的な性格であった。中学で進学校に入学し、学業とスポーツに打ち込んでいた。

**現 症**：意識は清明。身長 156cm、体重 49kg。体温 36.2°C。呼吸数 16/分。脈拍 72/分、整。血圧 98/60mmHg。皮膚は冷たく乾燥している。手が荒れている。

**検査所見**：尿・血液検査所見に異常を認めない。

この患者の心の発達において問題となるのはどれか、2つ選べ。

- a. 基本的信頼感
- b. 集団的同一性
- c. 自我同一性
- d. 統合感
- e. 劣等感

⑫ 「問題⑪」の症例について、薬物治療として第一選択になるのはどれか、1つ選べ。

- a. 選択的セロトニン再取り込み阻害薬<SSRI>
- b. 非定型抗精神病薬
- c. 中枢神経刺激薬
- d. 気分安定薬
- e. 睡眠導入薬

⑬ 「問題⑪」の症例について、治療的アプローチとして最も適切なのはどれか、1つ選べ

- a. 生活技能訓練 [social skills training<SST>]
- b. 母親による患者の行動の受容
- c. 児童相談所への相談
- d. 認知行動療法
- e. デイケア

#### ・「神経発達症」(2020.12.18)

① 小学2年生(7歳)の男の子。学校での読字・書字・算数などの遅れがみられ、ゆっくり進歩しているものの発達期を通して成長はずっと仲間たちよりも遅れていた。彼は日常の食事、入浴、身支度について継続的な援助を必要とする。

この患者の知的能力障害の現在の重症度の評価はどれか、1つ選べ。

- a. 軽度
- b. 中等度

- c. 重度
- d. 最重度
- e. IQ 得点なしでは特定できない。

② 知的能力障害について誤っているものはどれか、1つ選べ。

- a. 全検査 IQ が 70 未満であることが大部分である。
- b. 複雑な日常生活上の課題（例：金銭管理、医療による意思決定等）を支援なしでこなすことができない。
- c. 社会的状況における純朴さや他者に容易に感化される傾向のような“だまされやすさ”
- d. 社会的および対人的機能のための知的年齢相応のコミュニケーション技能の欠陥
- e. 以前は、「精神遅滞」という病名であった。

③ 23 歳の男性。引きこもりを心配した両親に伴われて来院した。幼児期に言葉の遅れを指摘され「ことばの教室」に通った。そのころから一人遊びが好きで、友達ではできず自宅でゲームばかりしていた。小中高校を通じて、学業成績は良好であったが、不器用で、体育は不得意であった。大学に進学し留年もせず卒業したが、就職活動では書類審査は合格するが面接試験ですべて不合格となった。最近は自宅にこもりゲームに興じていることが多い。こだわりが強く、家族がゲームを止めさせようとすると興奮し暴れる。会話では吃音が目立ち、視線を合わせない。表情には感情表出が乏しい。診断に有効な心理・精神機能検査はどれか、1つ選べ。

- a. 簡易精神症状評価尺度 [Brief Psychiatric Rating Scale <BPRS>]
- b. Wechsler 成人知能検査 <WAIS-III>
- c. 田中・Binet 式知能検査
- d. Mini-Mental State Examination <MMSE>
- e. ウィスコンシンカードソーティングテスト <WCST>

④ 7 歳の男の子が 2 年生のクラスでその行動から対人的困難に直面している。彼はクラスには出席できており、学業の面では彼の能力ほどにはできてはいないが、やっちはいる。いつも課題を中断し、もじもじ動き、しゃべりすぎ、自分の席から離れてしまう。友達とはいつも喧嘩となり、仲間を困らせることが多い。自宅では食事の際に席についていることはめったにない。彼は自分の振る舞いを指摘されると反省を示すが、時に立腹して制御することが困難となる。

この児童について適切な診断名はどれか、1つ選べ。

- a. 双極性障害
- b. 自閉症スペクトラム障害
- c. 全般不安症

- d. 注意欠陥多動性障害 (ADHD)
  - e. 限局性学習症
- ⑤ チックがはじめて出現するのは、典型的にはどの発達段階か、1つ選べ。
- a. 乳児期 (1 か月～1 歳)
  - b. 幼児期 (1～6 歳)
  - c. 学童期 (児童期＝潜伏期、7～12 歳)
  - d. 思春期
  - e. 青年期
- ⑥ 限局性学習症は発達期に発症し、学習的スキルを学習することの持続的な困難さによって特徴づけられる。この障害に関して正しいものはどれか、1つ選べ。
- a. 知的能力障害として現れる、より全般的な学習障害の一部である。
  - b. 通常、感覚器、身体、または神経系の障害が原因となる。
  - c. 情報処理の多領域にわたる広範かつ広範囲の欠陥を伴う。
  - d. 経済的不利益や教育の不足といった外的要因によって引き起こされることがある。
  - e. 読字障害、算数障害、書字表出障害および特定不能の学習障害の診断に代わるものである。
- ⑦ 自閉症スペクトラム障害について正しいものはどれか、1つ選べ。
- a. 感覚過敏を伴うことが特徴の1つである。
  - b. 適切な育児によって愛着は形成される。
  - c. 1歳前後で人見知りや後追いが激しい。
  - d. 知的発達の遅れを伴うものは約30%である。
  - e. 言葉が現れればコミュニケーションが成立するようになる。
- ⑧ 3歳の男の子。この4月から3年保育の幼稚園に入園した。しかし、入園初日から、園バスに乗るのを嫌がり、泣きながら母親にしがみつき、離れようとしなない。そのため、母親も一緒にバスに乗り、何とか、幼稚園にたどり着いた。その日は一日中、母親の洋服の裾を離さず、そのため母親は仕方なくずっと一緒にいた。次の日も同じような状態で、結局この半年以上、母親と一緒に登園する毎日である。家でお留守番をすることはできず、どうしてか聞くと、「お母さんがいなくなってしまうかもしれないから」と答える。いつも一緒に母親と買い物に行っている。また、外に行くと「迷子になってしまうのではないか」、「誘拐されてしまうのではないか」、「事故に遭うのではないか」と、常に心配しているという。
- 最も適切な診断はどれか、1つ選べ。

- a. 自閉症スペクトラム障害
- b. 限局性恐怖症
- c. 全般恐怖症
- d. 注意欠陥多動性障害
- e. 分離不安症

- ⑨ 4歳の男の子。幼稚園で先生が話しかけても全くしゃべらないことから、心配した先生のアドバイスで、両親が小児科を受診した。家では両親とよくしゃべるが、祖父母や仲のいい友達ともほとんど会話がないう。この状態はすでに3か月以上続いている。両親がしゃべらない理由を尋ねても、楽しくないからでもなく、はっきりしない。両親は、「元々、この子は内気な子とは思ったが、幼稚園に入るまでは気づかなかった」という。

最も適切な診断はどれか、1つ選べ。

- a. 限局性学習症
- b. 言語症
- c. 自閉症スペクトラム障害
- d. 知的能力障害
- e. 選択性緘黙

- ⑩ 6歳の男児。小学校入学後数か月くらいから、目をパチパチしたり、顔をしかめたり、首と肩とをしきりに動かすことが目立ってきたため来院した。遊びに夢中になっているときや眠っているときには認められない。注意されるとしばらくの間止まっている。担任の先生から「行儀が悪い」といつも注意されている。性格は明るく友達が多い。神経質で几帳面なところがある。

対応として適切なのはどれか、1つ選べ。

- a. 児童の動作を口やかましく注意しない。
- b. 児童に対しカウンセリングを行う。
- c. 脳波検査を行う。
- d. 入院させる。
- e. ハロペリドール内服を指示する。

- ⑪ 7歳の男児。意思の疎通がとれないことを心配した両親に伴われて来院した。乳児期からあやされても喜ばず、3歳まで有意語がなかった。現在、日常会話はかろうじて可能だが、相手の言葉に対するオウム返しが多い。興味の対象が限られ、それに執着する傾向があり、決まった遊びをいつまでも繰り返す。いつもと違う状況になると不安になり大騒ぎする。IQは49。運動発達は良好である。

この患児で考えられるのはどれか、2つ選べ。

- a. パーソナリティ障害
- b. 限局性学習障害
- c. 知的能力障害
- d. 自閉症スペクトラム
- e. 注意欠陥多動性障害 (ADHD)

- ⑫ 5歳の男児。幼稚園で他の児と遊べないことを主訴に両親に連れられて来院した。運動や言語の発達に問題はないが、視線が合いにくく呼びかけにも反応が乏しい。電車の図鑑に熱中しており、多くの車名を覚えている。幼稚園では1人でいることが多い。診察室では会話はできるが落ち着いて座っていることはできず、自分が興味のあることを一方的に話す。身体所見に異常を認めない。

この患児について正しいのはどれか、1つ選べ。

- a. 知的能力障害がある。
- b. 分離不安症がある。
- c. 身の自立は良好である。
- d. 社交不安症がある。
- e. 社会性の発達は良好である。

- ⑬ 「問題⑫」の男児が小学校に入学した際に、見られる可能性のある症状はどれか、1つ選べ。

- a. 宿題を忘れる。
- b. 順番を待てない。
- c. 他人を妨害する。
- d. 授業を聞いていないように見える。
- e. 上記のすべて。

・「その他の神経症①」(2020.12.21)

- ① 解離症群では、心理機能のあらゆる領域の活動と統合において破綻または不連続が生じる。解離症群において影響を受ける機能領域でないものはどれか、1つ選べ。

- a. 記憶
- b. 意識
- c. 知覚
- d. 妄想的信念
- e. 情動反応

- ② 離人感・現実感消失症について誤っているものはどれか、1つ選べ。
- a. 離人感・現実感消失症の一過性の症状は一般人口においても少なからずみられるが、診断基準を完全に満たすような症状は2%と少ない。
  - b. 離人感・現実感消失症の性比は、1:1である。
  - c. この障害のもっとも一般的な発症年齢は、20歳までである。
  - d. 離人感・現実感消失症をもつ人の中で最も多い小児期の心的外傷体験は情緒的ネグレクトである。
  - e. 離人感・現実感消失症のエピソードの間、人は自分が「狂いそうだ」と感じて典型的には現実検討を失う。
- ③ 25歳の女性。頭を左右に揺らし自転車をこぐように腕と足を動かす数分間の発作の評価のために入院している。発作中は意識を失っているように見えるが、発作終了直後より、彼女の意識は清明である。発作は1日に数回起こるが、発作以外の時には普通に過ごし、発作に関しても無関心なようである。なお、エピソード中、脳波を測定したがどのような発作波も認められなかった。  
最も可能性の高い診断はどれか、1つ選べ。
- a. てんかん
  - b. 詐病
  - c. 身体症状症
  - d. 変換症（機能的神経症状症）
  - e. 作為症
- ④ 21歳、独身女性。客室乗務員の仕事に就いて、1年余りの新人である。“アトピー性皮膚炎がストレスで悪化している”とのことで、皮膚科医院から紹介となった。小児期よりアトピー性皮膚炎があり、小児科や皮膚科で外用薬を処方され、症状は軽快していた。しかし中学以降、テスト勉強で睡眠不足になると湿疹・掻痒感が悪化し、高校3年生の秋頃からはついに皮膚科からステロイドの内服薬が処方されるようになった。猛勉強の甲斐もあり、第1希望の短大に入学でき、その後の2年間はステロイドの内服はせずに、ほとんど無症状で過ごすことができた。  
短大卒業後、航空会社に就職し、憧れの客室乗務員になるべく、訓練所と社員寮を往来するだけの生活が始まった。訓練は厳しかったが、同期入社の人にも恵まれ、無事訓練所を卒業でき、大阪に配属となった。しかし、実際の業務は訓練とは大きく異なり、経験や臨機応変さが必要で、先輩に怒られる日々が続いた。加えて、元々東京育ちで文化・習慣が違うこと、関西弁に不慣れで上手くコミュニケーションができないこと等もあり、徐々に社内での人間関係でも悩むようになった。アトピー性皮膚炎も再燃し、ステロイドの内服を再開するも症状はさらに悪化し、業務遂行不能となってしまった。

最も適切な診断はどれか、1つ選べ。

- a. 心身症
- b. 身体症状症
- c. 解離症
- d. うつ病
- e. 診断なし

⑤ 解離症（解離性障害）でみられないものはどれか、1つ選べ。

- a. 健忘
- b. 遁走
- c. 昏迷
- d. 多重人格
- e. パニック発作

⑥ 35歳の女性。心窩部痛の不快感を訴えて来院した。症状は1年以上続いており、すでに4か所の病院を受診した。そのたび精密検査を受けたが症状を説明できる異常は認められなかった。しかし患者はこれまでの意思の説明に納得できず、ネットで調べて、「がんのような重い病気なのではないか。検査で見つからないだけなのではないか。医師が隠しているのではないか」という考えに囚われ、疑い深く不安になっており、再度同じような精密検査を要求している。

最も考えられるのはどれか、1つ選べ。

- a. うつ病
- b. 全般不安症
- c. 病気不安症（病気心配性、心気症）
- d. 妄想性障害、身体型
- e. 適応障害

⑦ 32歳の女性。1年前に夫婦げんかの最中に動悸がひどくなり、息が苦しくなり、気が遠くなり、体が弓なりの緊張状態となって近医で処置を受けた。その後、同様の発作の頻度と持続時間とが増加した。最近では夫婦仲も冷えて離婚話も出てきたが、その話が出るたびに発作を繰り返し、外来受診をしていた。身体的異常はない。

治療として適切なものはどれか、1つ選べ。

- a. 精神療法
- b. 抗精神病薬投与
- c. 電気けいれん療法
- d. 抗けいれん薬投与

e. 生活技能訓練

- ⑧ 変換症（転換性障害）について誤っているものはどれか、1つ選べ。
- 症状は誇張的に表出される。
  - 患者は症状に対してむしろ無関心な態度を示す。
  - 症状は医師の態度によって変化する。
  - けいれん発作は睡眠中に起こることが多い。
  - 運動麻痺が長時間続くと関節の拘縮を生じる。
- ⑨ 25歳の男性。大学院に在籍し毎日研究に励んでいるが、ここ半年思うようにはかどらず焦っていた。最近、何をやっても実感がわからず、自分の体さえ自分のものであるという感覚がない。町並みも人々も妙によそよそしく現実感がないように感じられる。この症状はどれか、1つ選べ。
- 夢幻様状態
  - 抑うつ気分
  - 離人
  - 両価性
  - 感情鈍麻
- ⑩ 17歳の女子。言動が不自然であることを心配した両親に連れられて来院した。高校1年生の頃から「学校が面白くない」と言って、学校に行かず家にいるか買い物などに出かけている日があった。一昨日は学校を休んで1人で自宅にいた。その日の午後、祖母が家に訪ねてきたがぼんやりしており会話が普段より遅くまとまりが悪かった。夕方に母親が帰宅したときは普段と変わりなかった。この患者にまず行う質問として、最も適切なのはどれか、1つ選べ。
- 「最近1年間で学校を何日休みましたか」
  - 「実際にはいない人の声が聴こえますか」
  - 「最近ストレスに感じていることはありますか」
  - 「今日の朝食のおかずの内容を」
  - 「一昨日、お祖母さんが来ていたのを覚えていますか」
- ⑪ 20歳の女性。声が出なくなったことを主訴に友人とともに来院した。今朝、いつもどおりに大学に行ったが、1限目の講義が終了したところから声がかすれるようになり、1時間後には全く声が出なくなった。友人とともに保健管理室で相談したところ、医療機関へ行くことを勧められたため受診した。1年前から部活動での人間関係のトラブルを契機として、不安感や情動の不安定性が出現し治療を受けていた。受診時、筆談は可能

で理解力は保たれ、意識は清明と考えられた。発声できないこと以外に神経学的所見に異常を認めない。血液生化学所見、脳波および頭部 CT で異常を認めない。

この患者にみられるのはどれか、1つ選べ。

- a. 解離
- b. 転換
- c. 離人症
- d. 被影響体験
- e. させられ（作為）体験

⑫ 解離性同一性障害について誤っているものはどれか、1つ選べ。

- a. 患者の病歴の中には、子どもの頃の身体的・性的虐待などの外傷体験がみられることが多い。
- b. 以前、「多重人格」とよばれていた疾患である。
- c. 診察時、記憶の障害を訴える場合が多い。
- d. 好発年齢は40代以降で、男性に多い。
- e. 境界性パーソナリティ障害や作為症、詐病との鑑別が重要である。

⑬ 37歳女性、3児の母親（2児は、数年前に相次いで敗血症で死亡）である。四女が肝機能障害で入院。治療は奏効していたが、突然状態が悪化し、敗血症および肺水腫にて死亡した。その後、死亡した四女の血液検査で、通常は血中に存在しない細菌が確認されたため、この時点で病院側は警察に通報した。そして警察が病室の水道蛇口付近で採取した細菌を鑑定した結果、四女の血中の細菌と一致。肺水腫を引き起こした菌と判明された。

警察は、この母親から事情を聞いたところ、四女の病室内の水道水の水を注射器で点滴回路に数回混入したことも認めた。さらに母親は「周囲の同情を買うため、子どもを看病する姿を見せたかった」と供述し、殺意は否認している。なお、4年前、2年前に、別の病院にて、次女、三女が相次いで敗血病で死亡した件も、同じ手口で水道水を点滴に混ぜたことも認めた。その2年後、この母親は傷害致死罪、傷害罪にて懲役10年の実刑判決を受けた。

最も考えられる疾患はどれか、1つ選べ。

- a. 境界性パーソナリティ障害
- b. 身体症状症
- c. 詐病
- d. 作為症
- e. 変換症

・「その他の神経症②」(2020.12.22)

- ①ナルコレプシーの患者の訴えと考えられるのはどれか、2つ選べ。
- a. 「会議中に突然眠ってしまいます」
  - b. 「毎日明け方になるまで眠れません」
  - c. 「寝入りばなに誰かに呼ばれる気がします」
  - d. 「足がむずむずしてよく眠れません」
  - e. 「毎晩、眠れないのではないかと不安になります」
- ② 悪夢障害(悪夢症)でみられることの多い症状として、最も適切なものはどれか、1つ選べ。
- a. 周期性四肢運動
  - b. 入眠時レム睡眠
  - c. 肥満
  - d. カタキレプシー
  - e. ヘモグロビン酸素飽和度の低下
- ③ 入眠困難を主訴とする不眠症(不眠障害)の成人患者に対する指導として適切なのはどれか。
- a. 「一定時刻に起床し日光を浴びましょう」
  - b. 「可能な限り早い時刻に就床しましょう」
  - c. 「就床前にアルコール飲料を飲むようにしましょう」
  - d. 「一晩に8時間以上就床しているようにしましょう」
  - e. 「就床後、入眠できない時はじっと眠気が来るのを待ちましょう」
- ④ 睡眠障害と治療薬の組合せで誤っているのはどれか。
- a. ナルコレプシー ----- メチルフェニデート
  - b. 睡眠時無呼吸症候群 ----- ジアゼパム
  - c. 睡眠覚醒スケジュール障害 ----- メラトニン
  - d. むずむず脚症候群 ----- プラミペキソール
  - e. レム<REM>睡眠行動障害 ----- クロナゼパム
- ⑤ 15歳の男子。夜間の異常行動を主訴に母親とともに来院した。2週前、午前1時ころ患者の部屋で大きな音がしたため母親が確認に行くと、患者がうつろな眼差しで部屋の中を歩いており、目覚まし時計が床に転がっていた。手をつかもうとすると急に暴れ始め抑え切れなかったため父親を呼びに行き、部屋に戻るとベッドの中で寝ていた。翌日に確認すると「夜の10時半ころから朝までぐっすり寝ていた」と述べ、昨夜の出来

事を全く覚えていなかった。昨晚も同様の状態がみられたため受診した。身体所見、血液生化学所見および脳波所見に異常を認めない。

最も考えられるのはどれか。

- a. 夜驚症（睡眠時驚愕症）
- b. 悪夢症（悪夢障害）
- c. 夢中遊行症（睡眠時遊行症）
- d. レム<REM>睡眠行動障害
- e. 睡眠覚醒スケジュール障害

⑥ 睡眠時無呼吸症候群に行う在宅人工換気療法はどれか、1つ選べ。

- a. 高頻度換気
- b. 間欠的陽圧換気
- c. 持続的陽圧換気
- d. 間欠的強制換気
- e. 持続的気道陽圧換気

⑦ 65歳の男性。睡眠中の行動異常を主訴に妻に伴われて来院した。5年前からしばしば悪夢を見てはつきりした寝言を言うようになった。次第に睡眠中に大声で叫んだり笑ったりするようになり、上肢を振り回し妻に殴りかかることがあった。寝言や寝ぼけた行動は夢の内容に対応していた。

最も考えられる疾患について正しいのはどれか。

- a. Alzheimer型認知症に移行する可能性が高い。
- b. 徐波睡眠相に一致して行動異常が出現する。
- c. 妻に対する無意識の敵意が原因である。
- d. 寝室環境の調整が必要である。
- e. 過眠を伴うことが多い。

⑧ 29歳の男性。日中の眠気を主訴に来院した。1年前から睡眠中の激しいいびきと無呼吸とを家族に指摘されていた。最近、日中の眠気が強くなり、勤務に支障をきたしている。身長160cm、体重95kg。両側口蓋扁桃のII度の腫大を認める。

予想されるのはどれか、2つ選べ。

- a. 血圧上昇
- b. 赤血球増加
- c. PaCO<sub>2</sub>低下
- d. 機能的残気量増加
- e. 横隔膜低下

- ⑨ 神経性やせ症の3つの必須の診断的特徴はどれか、1つ選べ。
- 持続的に低い自信、肥満になることに対する強い恐怖、動機づけの障害
  - 低い自尊心、体重または体型に関する自己認識の障害、持続性のカロリー制限
  - 制限された感情、動機づけの障害、低いカロリー摂取量
  - 持続性のカロリー摂取制限、肥満になることへの強い恐怖、体重または体型に関する自己認識の障害
  - 持続的に体重増加がないこと、動機づけの障害、制限された感情
- ⑩ 神経性過食症の3つの必須の診断的特徴はどれか、1つ選べ。
- 反復する過食エピソード、反復する体重増加を防ぐための不適切な代償行為、体型および体重によって過度に影響を受ける自己評価
  - 反復する食事制限、体型および体重によって過度に影響を受ける自己評価、気分不安定性
  - 体型に関する妄想、食物に対する脅迫的な関心、反復する排出行為
  - 1か月間の軽躁症状、気分不安定性、体型および体重によって過度に影響を受ける自己評価
  - 体型および体重によって過度に影響を受ける自己評価、神経性やせ症の病歴、体重を増加させるための反復する不適切な代償行為
- ⑪ 16歳の女子。食事に対する恐怖を訴え、家族に連れられて来院した。中学2年生のとき伯母に「ぼっちゃりしている」と言われたのを契機に体型に対する関心が高まり、ダイエットを始めた。身長165cm、赤血球320万、Hb11.0g/dL。MRIで大脳に軽度の萎縮がみられる。
- この症例にみられるのはどれか、1つ選べ。
- 低体温
  - 頻脈
  - 下痢
  - 脱毛
  - 動作緩慢
- ⑫ 神経性大食症<過食症>について正しいのはどれか。
- 体重は標準を超える。
  - 無月経を伴うことが多い。
  - 過食はしても絶食はしない。
  - 近年、神経性食思<欲>不振症よりも発生頻度が低い。

e. 電解質異常と代謝性アルカローシスとをしばしば伴う。

- ⑬ 17歳の女子。体重減少を主訴に来院した。2年前から摂食量を意識的に減らすようになり、学校における定期健康診断でやせを指摘された。医療機関への受診を指導されたが受診しなかったという。その後も体重がさらに減少しており、心配した母親に付き添われて受診した。身長150cm、体重27kg。体温36.1°C。脈拍52/分、整。血圧90/50mmHg。前腕や背部に産毛の増生を認める。下腿に軽度の圧痕浮腫を認める。

この患者で認められる可能性が高いのはどれか。

- a. GHが高値である。
- b. 月経周期は正常である。
- c. LH/FSH比が高値である。
- d. コルチゾールが低値である。
- e. 遊離トリヨードサイロニン<FT<sub>3</sub>>が高値である。

・「物質関連障害および嗜癖性障害」(2020.12.23)

- ① 睡眠薬依存の離脱症状として出現するのはどれか、2つ選べ。

- a. 過食
- b. 不安
- c. 強迫
- d. 誇大妄想
- e. けいれん発作

- ② 覚せい剤精神病でみられるのはどれか、2つ選べ。

- a. 意識変容
- b. 通過症候群
- c. 逆耐性現象
- d. フラッシュバック現象
- e. レム<REM>睡眠行動障害

- ③ 「オピオイド離脱」と「鎮痛薬、睡眠薬、または抗不安薬離脱」は非常によく似た症状を引き起こすことがあるので、その2つを区別することは難しいかもしれない。

次のうち、正しい鑑別診断を下す際に役立つのはどれか、2つ選べ。

- a. 嘔気または嘔吐
- b. 発汗
- c. あくび
- d. けいれん大発作

e. 不眠

④ 身体依存、精神依存および耐性形成のすべてをきたすのはどれか、2つ選べ。

- a. 大麻
- b. コカイン
- c. モルヒネ
- d. アルコール
- e. アンフェタミン類

⑤ 逆耐性現象を示すのはどれか、1つ選べ。

- a. 大麻精神病
- b. LSD 精神病
- c. 覚醒剤精神病
- d. コカイン精神病
- e. アルコール精神病

(作成者注：テストの際は「2つ選べ」でしたが、国試過去問を見ると正答が一つしかないようなので、ここでは「1つ選べ」としています)

⑥ アルコール依存症の治療について適切なのはどれか。

- a. 入院治療が第一選択である。
- b. 断酒会は匿名参加が原則である。
- c. 離脱症状にベンゾジアゼピン系薬を投与する。
- d. 脳症の予防としてビタミン D は有効である。
- e. 患者に知らせずに抗酒薬を食事に混ぜて投与する。

⑦ アルコール離脱せん妄について正しいものはどれか、1つ選べ。

- a. アルコール離脱を発症する人のうち、重度の自律神経系過活動、振戦、アルコール離脱せん妄などの劇的な症状を経験するのは10%以下である。
- b. アルコール離脱の危険性と重症度は、年齢と共に減少する。
- c. アルコール使用障害をもつ人のうち約80%がアルコール離脱を経験する。
- d. アルコール離脱の基準を満たす人のうち約15%が強直間代発作を起こす。
- e. 典型的には、アルコール離脱症状はアルコール使用の中止または減量の36~48時間後に出現する。

⑧ 17歳の女子。自殺企図による急性薬物中毒で集中治療室（ICU）に収容された。約15時間後に身体症状はほぼ回復したが、拒絶的で自殺の動機を明らかにしない。

まず、行うべきことはどれか、1つ選べ。

- a. 向精神薬の投与
- b. 外来治療への切り換え
- c. 一般病棟への転棟
- d. 精神科病棟への転棟
- e. 医師と家族の面会

⑨ 適切な組み合わせはどれか、**2つ選べ**。

- a. 振戦せん妄 ----- Liepmann 現象
- b. Korsakoff 精神病 (症候群) ----- 嫉妬妄想
- c. アルコール幻覚症 ----- 小動物幻視
- d. Wernicke 脳症 ----- ビタミン B<sub>1</sub>
- e. ニコチン酸欠乏脳症 ----- ビタミン A

⑩ 72歳の女性。高血圧症で通院中の内科外来にて、夫への対応に困っていると相談があった。夫は2年前に職場を退職した後から飲酒をするようになり、最近ほとんど外出もせず、朝から家で飲酒することが増えた。飲酒をすると大声を出して暴れることがある。飲酒をやめるように話しても言うことを聞かず、病院受診を勧めると「病人扱いをするのか」と怒り出すため、とても困っているという。

この相談を受けた医師の対応として最も適切なものはどれか、1つ選べ。

- a. 直ちに警察に通報する。
- b. 精神科受診のための紹介所を作成する。
- c. 夫に直接連絡し、禁酒するよう説得する。
- d. 地域包括支援センターに相談するように説明する。
- e. 地域の在宅医に連絡し、夫に対する訪問診療を依頼する。

⑪ 24歳の女性。悪心、嘔吐を主訴として内科病棟に入院したが、夜になって不安とともに幻覚症状を認めるようになった。前腕の静脈に沿って注射痕があり、翌日の検尿でメタンフェタミンが検出された。本人はさらに入院治療を希望している。

この患者に対する適切な対応はどれか、1つ選べ。

- a. 精神保健福祉センターに届け出る。
- b. 警察に届け保護してもらう。
- c. 保健所に届け措置入院手続をとる
- d. 家族を呼び医療保護入院させる。
- e. 精神保健福祉法に基づいて任意入院させる。

- ⑫ 45歳の男性。生来健康であったが、長年の飲酒歴がある。3年前に離婚した。この頃から飲酒量が増え、連日朝から飲酒するようになった。数日前からの悪心、嘔吐および少量の吐血で入院した。入院2日目から手指の振戦、発汗がみられ、夜間の不眠、不安および焦燥感が増強した。

この患者に予想されるのはどれか、3つ選べ。

- a. てんかん発作
- b. 自律神経の嵐
- c. 罪業妄想
- d. 小動物幻視
- e. 失見当識

- ⑬ アルコール依存症について正しいものはどれか、1つ選べ。

- a. 我が国では男女いずれも増加している。
- b. アルコール精神病に含まれる。
- c. 血清 $\gamma$ -GTPでスクリーニングする。
- d. 診断した医師は保健所に届け出る必要がある。
- e. 精神保健福祉センターで相談業務を行っている。

<解答>

・「認知症・せん妄」(2020.12.14)

- ① a ② a ③ d ④ c ⑤ a ⑥ d ⑦ e ⑧ a ⑨ c,e ⑩ c ⑪ c  
⑫ a ⑬ c

・「統合失調症」(2020.12.15)

- ① a ② c ③ d ④ b ⑤ b,e ⑥ b ⑦ d ⑧ b ⑨ b ⑩ c ⑪ b  
⑫ b,c ⑬ b,e

・「気分障害」(2020.12.16)

- ① a ② c ③ c ④ b ⑤ d ⑥ c ⑦ a,e ⑧ b,c ⑨ a ⑩ c ⑪ e  
⑫ b,c ⑬ b

・「不安症・強迫症・ストレス障害」(2020.12.17)

- ① d ② a ③ c ④ c ⑤ c ⑥ d ⑦ b,e ⑧ c,d ⑨ b ⑩ a  
⑪ b,c ⑫ a ⑬ d

・「神経発達症」(2020.12.18)

- ① b ② d ③ b ④ d ⑤ c ⑥ e ⑦ a ⑧ e ⑨ e ⑩ a ⑪ c,d  
⑫ c ⑬ e

・「その他の神経症①」(2020.12.21)

- ① d ② e ③ d ④ a ⑤ e ⑥ c ⑦ a ⑧ d ⑨ c ⑩ e ⑪ b

⑫ d ⑬ d

・「その他の神経症②」(2020.12.22)

① a,c ② a ③ a ④ b ⑤ c ⑥ e ⑦ d ⑧ a,b ⑨ d ⑩ a ⑪ a  
⑫ e ⑬ a

・「物質関連障害」(2020.12.23)

① b,e ② c,d ③ c,d ④ c,d ⑤ c ⑥ c ⑦ a ⑧ e ⑨ a,d ⑩ d  
⑪ e ⑫ a,d,e ⑬ e